



平成25年6月23日(日)に新病棟完成記念式典及び内覧会を開催しました。

新病棟完成記念式典には、来賓者、医療関係者、建設関係者及び病院職員ら約120名が出席して新病棟の完成を祝いました。

記念式典の挨拶では岩田院長が、各施工業者に対して無事に新病棟新築工事が完了したことへの労いの言葉を述べ、完成した新病棟は現在の病棟より患者様のプライバシー保護の向上及びアメニティーの充実を図るため、間仕切り家具を設置した4床室や個室を数多く設けたこと、ポストNICUを新たに設置したこと等を説明し、新病棟完成後における新たな決意を述べました。

次に高須賀東温市長、別宮東温市医師会長、榎垣愛媛大学医学部附属病院長からそれぞれ

祝辞が述べられました。その後テープカットが行われて式典が終了しました。

式典終了後には、来賓の方々に新病棟を内覧していただきました。

午後は、地域住民の方々への内覧会を開催しました。内覧会には約300名が参加され、新病棟の病室（4床室・個室）を見られて「綺麗になった。」「広くなった。」等、思い思いの感想を述べられていました。5階のリハビリテーション室では5階からの眺望を堪能されたり、日常生活活動室の使用法の説明に傾かれました。また、呼吸器疾患に関する相談コーナーや、お子様を対象としたキッズナース記念撮影会も好評でした。

企画課長 高須賀良樹

# 新病棟 紙上内覧会



病棟



4人部屋



サニタリー



枕元



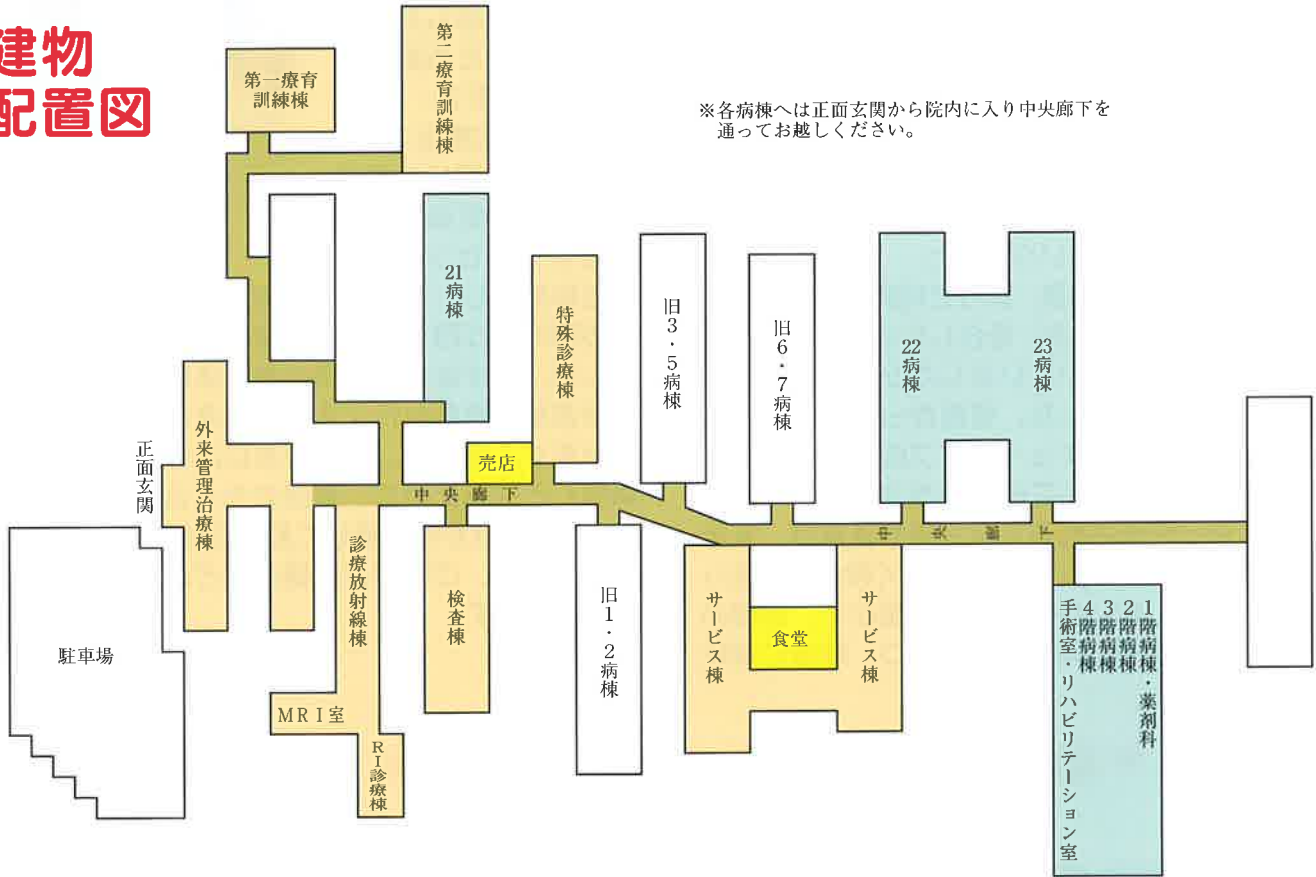
光庭



ダイニング

# ごあんないいたします

## 建物配置図



## 新病棟階層図

5F	手術室・中央材料室		EV	リハビリテーション室
	デイルーム	4階病棟	呼吸器内科	結核ユニット
4F	4階病棟	呼吸器内科 睡眠呼吸センター	EV	結核ユニット
	4階病棟	呼吸器内科 睡眠呼吸センター	バイオクリーンルーム	結核ユニット
3F	デイルーム	3階病棟	整形外科・消化器内科・糖尿病内科	
	3階病棟	整形外科・消化器内科・糖尿病内科	EV	
2F	デイルーム	2階病棟	循環器内科・外科(消化器・呼吸器)・内科	
	ICU	2階病棟	EV	心臓リハビリテーション室
1F	1階病棟	ポストNICU	デイルーム	1階病棟 神経内科
	薬剤部門		EV	1階病棟 神経内科

# 着任のごあいさつ



## 看護部長 秋本洋子

この度4月1日付にて、国立病院機構愛媛医療センターに看護部長として赴任してまいりました。それまでは、国立病院機構高知病院附属看護学校で教育主事を務めてまいりました。

愛媛と言えば道後温泉、旅行で何度か訪れたことのある地ではありました。赴任したころは桜が満開の時期で、噂には聞いていましたが、予想を超える素晴らしい風景でした。宿舎からの道路わきに咲いていた菜の花やチューリップの花々に心を癒され、看護管理者としての勤務がスタートしました。ほぼ毎日開催される各種会議や委員会、来年度の募集活動、出張等、目まぐるしく時が過ぎ去っていきます。しかし当院は、人が温かく、時間の流れを緩やかに感じる雰囲気をもつ、地域に馴染

んだ病院だと感じました。そして、1か月たった現在、1つの部門が困っているときは、全体で智慧を出し合い問題解決にあたる組織だと感じています。

今、愛媛医療センターは変化の時期にあります。4月に愛媛病院から愛媛医療センターへと名称変更し、6月より一般病棟7：1入院基本料の取得、6月末には新病棟が完成し移転となりました。まずは、新病棟の看護体制づくりと安全に患者様の移動が行えるよう入念な準備を行っていきます。そして、病院理念にある「信頼される病院」となるために、当院のチーム力が発揮できるよう微力ながら精進してまいりたいと存じます。

今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。



初めまして。篠原奈子と申します。私は神経内科医として主に6病棟で仕事させて頂いております。こちらに赴任して2カ月半たち、最近やっと業務内容に少し慣れてきましたが、まだ失敗の連続で皆様（特に6病棟の方々）には随分とご迷惑をおかけしています。こちらに来て驚いた事は、歴史を感じさせる趣のある建物と、廊下を我が物顔で闊歩しているムカデと、そして何より様々なスタッフ間の距離感が近い事です。様々な業種の方々と身近に接することができるこの環境はとても素晴らしいと、心から感じています。

私は旧北条市出身で高校まで愛媛で過ごしました。学生時代は陸上にバスケと運動命でやっていましたが、いまではすっかり出不精で休日は家で過ごすことが多いです。時々外出した際には車に乗ってどこかへ…辿り着くことが目的ではなく、運転することが好きなので近場をウロウロするだけで満足しています。大学時代は関西で過ごしており、

遊びや部活の遠征でいろいろな土地へ行きました。愛媛に帰ってからあちこち探索していますが、まだまだ知らないところが沢山あります。時間を見つけて行ってみたいなど日々企んでいますので、耳寄りな情報がありましたら是非教えてください。お待ちしております。

医師としても神経内科医としてもまだまだ未熟な私です。これからも様々な面でご迷惑をおかけすることと思いますが、ご教示頂けましたら幸いです。まだお目にかかれていない部署の方々も多くいらっしゃると思います。もし、やたらとデカイ女が廊下を歩いていたら、きっと私です。気軽に声をかけてください。どうぞ宜しくお願いします。

にゅ～ふえいす  
神経内科 篠原奈子Dr

# 地域の輪



## 希望の館

### 繋がる地域医療連携

希望の館は、東温市川内地区の林業試験場跡地にあり、入所（短期含む）100床、デイケア30名/1日の施設になります。平成12年の開設から早13年が経過し、地元にも愛される施設を目指して日々努力しています。

当施設は「介護老人保健施設」という種類の施設になり、病院と自宅の中間施設という位置づけがされています。お年寄りの方が転倒・骨折により入院したあと、「もう少しリハビリがしたい」などのご希望がありましたら、介護保険申請代行から、入所後に住宅改修のアドバイス・在宅復帰を目指したりハビリテーションを提供し、自宅に帰



るお手伝いをさせていただきます。また、どうしても自宅に帰れない方が特養施設への入所を希望された場合の待機施設としても利用していただくことができます。

デイケア（通所リハビリテーション）では、在宅生活を継続させる為のリハビリテーションを提供させていただいており、入浴・食事の提供とトータルにお手伝いができる環境を整えています。施設長が医師であることも大きな特徴であり、状態に合わせた診察や緊急対応に備えたショートステイ（短期間の入所）も利用していただくことができます。

若いスタッフが多く至らない点も多いですが、愛媛医療センターを中心とした医療機関と連携を図りながら地域のお役にたてたら幸いです。これからもよろしく願いいたします。

施設名 社会福祉法人 三恵会  
介護老人保健施設 希望の館  
住所 東温市則之内甲2783-1  
電話 089-960-6336  
FAX 089-966-1239

## Persistence pays off

継続は力なり



### 英会話クラス～5年目を迎えて～

早いもので 'Time flies'、週1回の英会話クラスを開始して約5年が経過しました。始めた頃は20名を超える大所帯が数か月内に数名に減り、どうなることやら 'I wonder what's going on?' と心配していましたが、何とか今日まで継続することができました 'Thank god!'。当初から参加されていた稲葉先生は平成21年7月より New York で活躍しています。

写真は毎年行っている循環器英語セミナーの打ち上げの様子ですが、斉藤先生(写真中央)は今春より Australia に留学されました。青野先生(写真右端)も7月より Kentucky に留学予定とのことです。私もそうであったように思うのですが、具体的な目的がないと英会話を続けることは難しいのかもしれない。一方で、最近では小学校における英語授業の開始や一部企業における英語の公用語化などが話題になっており、若い世代にとって英語は益々身近になるように思います 'English ability might help younger people in the future. How about elderly people??'。

さて、現在の講師は Richard Gere 似とうわさの英国人(名前も似ている! Richard Parker 氏)で、私たちの誤った英語を丁寧に指導してくれます。

個人の英語のレベルは問いませんので、英会話に興味のある方は是非ご連絡ください 'Hesitation is just a hindrance! Why not join us?'. この紙面が配布されるころには、留学先の上司 (Prof. Fredrik Karpe 氏; 英国オックスフォード大学) と外科医の奥さま (Dr. Gael MacLean 氏) が当施設に来られる予定です。両名を招聘できたことは私にとってとても光栄なことですが、彼らの講演を聴いて海外(このさい海外旅行でも)を目指す若き医療者が増えればいいと思います。



# 新採用者から愛をこめて

4月1日付で採用になった職員に、ひと言ずつ目標や意気込みを語っていただきました。



1病棟 看護師 浅木奈々絵

患者様、スタッフの方々に信頼される看護師目指して頑張ります！



2病棟 看護師 山本 奈緒

患者さんの気持ちに寄り添える看護師になれるよう頑張ります。



1病棟 看護師 浅野 貴之

色々な科を経験したいと思っています。宜しくお願いします。



2病棟 看護師 和田 薫

少しでも早く組織の一員になれるよう頑張ります。



1病棟 看護師 川上小百合

職場の環境に慣れ、心のこもった温かいケアを提供します。



2病棟 看護師 武市 理沙

毎日コツコツと学び、自立した信頼される看護師になります。



1病棟 看護師 丸木 美来

気持ちに寄り添い信頼される看護師を目指して笑顔で頑張ります。



3病棟 看護師 石崎 愛美

つらいことがあっても毎日笑顔を忘れず頑張ります。



1病棟 看護師 村上 舞

患者さんの気持ちをくみ取れるような看護師になりたいです。



3病棟 看護師 宮岡 知代

しんどいときでも笑顔で、新人同士で協力し合って頑張ります!!



2病棟 看護師 大野 亨介

患者様からもスタッフからも愛される看護師になります。



3病棟 看護師 守川 明来

毎日笑顔を忘れず、新人同士力を合わせて精一杯がんばります。



2病棟 看護師 森本 麻衣

忙しい中でも、患者様と関わる時間を大切にしていきたいです。



3病棟 看護師 山中 麻衣

患者様、スタッフから早く信頼してもらえるように頑張ります。



5病棟 看護師 香川由紀子

笑顔いっぱい一生懸命頑張ります！よろしくお祈りします。

よろしく  
お願いします！





5病棟 看護師 田ノ内彩夏

笑顔で精一杯頑張ります。よろしくお祈りします。



21病棟 看護師 水野 美央

患者さんの気持ちがわかる看護師になれるよう頑張ります。



5病棟 看護師 橋本 有沙

愛媛医療センターの職員として頑張っていきたいです。



22病棟 看護師 伊藤 大介

一人でも多くの患者様に満足して頂けるよう日々取り組みます。



5病棟 看護師 和氣坂美歩

一生懸命頑張ります！よろしくお祈りします。



22病棟 看護師 宮榮 美幸

思いやり、優しい気持ちと向上心を持ち 前進していきたいです。



6病棟 看護師 木村 麻衣

笑顔と優しさを忘れず信頼される看護師になれるよう頑張ります。



23病棟 看護師 金原 由加

笑顔と愛で看護を提供できるよう頑張ります。



6病棟 看護師 塩崎 理奈

患者さんに少しでも楽になっていただけるよう頑張ります！



23病棟 看護師 寺嶋 美歌

一生懸命頑張ります。



6病棟 看護師 松下明日美

毎日、笑顔と元気だけは絶やさず頑張りたいと思います。



23病棟 看護師 東 さおり

どんな時にも「優しい心」と「笑顔」を忘れず頑張ります。



6病棟 看護師 山根 光世

患者さんにとって安心できる看護師になれるように頑張ります。



23病棟 看護師 藤田 祥子

初心に戻って、新しい自分を見つけようと、日々頑張っています。



7病棟 看護師 窪田 潤

看護師の道は始まったばかりです。大変ですが、がんばります。



検査科 臨床検査技師 北村 久美

まだまだ半人前ですが、一人前の臨床検査技師になれるよう頑張ります。



21病棟 看護師 青木 秀樹

いつも前向きに取り組み、患者様に温かい看護師になりたいです。



療育指導室 保育士 廣瀬沙矢香

患者さんが充実した生活ができるような療育を行っていききたいです。

# MOVING IN

## 転入者紹介

4月1日付で当センターに赴任した職員です。よろしくお願いいたします。

50音順

部署	職名	氏名	前任地
理学療法室	理学療法士長	青木 裕美	四国がんセンター
看護部	看護部長	秋本 洋子	高知病院
23病棟	看護師	河部 朱充	呉医療センター
管理課	管理課長	佐伯 哲朗	香川小児病院
薬剤科	副薬剤科長	清水 ゆき	浜田医療センター
外来	看護師長	武吉 純代	高知病院
企画課	経営企画室長	平本 浩彦	浜田医療センター
管理課	庶務班長	藤本 秀憲	四国がんセンター
企画課	算定・病歴係長	宮地 貴広	高知病院
5病棟	副看護師長	山本小百合	善通寺病院
21病棟	看護師長	山本 美保	高知病院
療育指導室	療育指導室長	吉岡 恭一	松江医療センター

## おいでんか 外来相談

当センターでは平成2年より、在宅生活をされている重症心身障害の方を対象として毎月1回、原則第2木曜日に「外来相談」を行っています。医療相談（専門医による発達相談、神経・けいれん相談、アレルギー相談など）、療育活動、摂食指導、作業療法などによって、より良い在宅生活が継続できることを目的とし、各専門職種の方が支援を行っています。

4月11日(木)、平成25年度になって初めての外来相談を行いました。「散歩」を中心とした内容を計画していましたが、この日はあいにく寒く雨も降りそうでしたので急遽第2訓練棟で行いました。

午前中は、4月に松江医療センターから転入した吉岡療育指導室長、新採用の廣瀬保育士、若山保育士に、利用者や保護者の方、ボランティアのみなさんが質問をしそれに答えていくという自己紹介ゲームを行いました。「好きな飲み物は何ですか」という質問に対し、「火のつかない程度のアルコール」との回答にはみなさん大笑いでした。

次に、ムーブメント用の“パラシュート”を使った療育を行いました。床に敷いてあるパラシュートの真ん中に利用者に寝てもらい、パラシュートの端を職員や保護者のみなさんがもち、右に、左に回りながら感覚刺激を楽しみました。また、パラシュートの中に風船を入れ、動き回るその風船

を利用者が手を伸ばして探っている姿がみられました。最後に、パラシュートの上に乗せた紙吹雪を上下させて桜吹雪のイメージをみんなで楽しみました。

午後からは、機能訓練や散歩車での院内散歩、ムーブメント、ネイルアート、リラクゼーションを行いました。

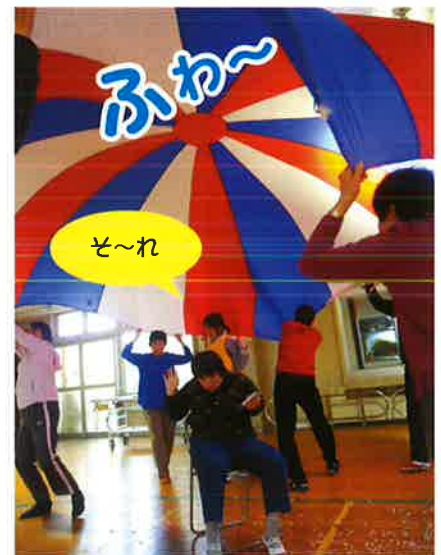
近年、やや利用者の減少傾向がみられる「外来相談」ですが、地道にそしてさらに活発な活動となるよう努力してまいります。新規利用をご希望の方は大歓迎です。お気軽にお問い合わせください。見学も歓迎します。

ホームページ（重症心身障害児（者）施設について）のタブから（愛顔ワイ♪わいだより）のコーナーもご覧ください。

児童指導員 石田 和寛

※お問い合わせ先

TEL 089-990-1864（療育指導室）



パラシュートを使ったムーブメント





毎月第2水曜日は ~~特売日~~  
医療安全推進強化日



人は間違いを起こします。「ハインリッヒの法則」を思い出してください。1つの重大事故の影に29の中等度の事故があり、その下に300の軽症事故があるとされています。しかし、医療が高度化している現在、アメリカの安全学者バードは1件の重症事故をなくすには600件の未然事故をなくす必要があると述べています。

当院では、患者様への影響のなかった事例（ヒヤットした事例）も含め、影響レベル別にヒヤリ・ハット報告をしています。全職員が報告（コンピューター入力）できるシステムになっています。報告されたヒヤットしたことの体験を職員が共有し、再発防止につなげています。しかし、自分では気が付かないことも多々あります。また、私たちは何事も継続することを苦手とします。



そこで、各部署の「医療安全推進委員」が毎月、第2水曜日を「医療安全推進強化日」と決めて、マニュアルが遵守されているかチェックを行っています。フルネームでの名前確認をはじめ、全職場で指導や啓蒙活動を行っています。また、改善策を検討し安全な医療の提供を目指しています。重大事故が起きないように小さなことも見逃さない。オレンジの腕章をつけた私たちを見たら「今日は強化日だな！」と思って協力をよろしくお願いします。

5月12日は  
看護の日

今年も隻手薬師で健康チェック

5月12日は近代看護教育の生みの親と言われるフローレンス・ナイチンゲールの誕生日です。この日は国際看護の日といわれ世界的な記念日になっています。各施設で様々な取り組みが行われていますが、毎年愛媛医療センターでは香積寺（隻手薬師）で健康相談を行っています。この日は五月晴れ、日差しはもう夏のような感じでした。天気にも恵まれたことと日曜日が重なったことで160名を超える方が立ち寄ってくださいました。



身長測定では、「やったあー伸びた、靴のおかげかな、年をとると縮むよね。」体重測定では「痩せた、太った、服を着ているから重くなっているのよ...。」体脂肪測定では「痩せているのに軽度肥満だなんておかしいなあ。」など思い思いの声飛び交っていました。

昨年に引き続き、立ち寄ってくださった方へ新病棟完成予定写真を入れたティッシュと病院パンフレットを配布しました。「やっと新しくなるんですね、楽しみです。」「いつできるんですか、よかったですね。」「どの辺に建ってるの、一回は行かんといかんね。」など地域の方からあたたかい言葉を頂きました。その声を聞いていると、愛媛医療センターは愛媛療養所時代や愛媛病院時代から地域の人と密着している病院なのだという改めを感じることができました。これからますます高齢化社会になっていく現状がありますが、愛媛医療センターとしての役割を果たすとともに地域の人とのかかわりを大事にしていかなければいけないと感じた一日でした。

看護師長 森下八重美



和やかに…真剣に…

## 新採用者・転入者宿泊研修

5月31日～6月1日

去る5月31日(金)の午後から6月1日(土)の午前の2日間、近くの温泉施設を会場に、新採用職員、新転入職員を対象とした宿泊研修が行われました。私も今年4月1日の転入者なのですが、役職上お世話係ということで参加させていただきました。といっても何分不慣れなもので、前任の高須賀企画課長や高須賀副看護部長にフォローしてもらいながらなんとか実施することができました。

研修中は真剣に…また夜の懇親会では和気藹々と…新しく当院の職員となった人達の連帯感が生まれたのではないかと思います。

ところで参加して気がついたことがあります。当日は多くの職員が病院から会場までバスで移動したのですが、参加者が集合時間の厳守をはじめ迅速に行動したことです。普段のこと、あるいは当然のことかもしれませんが、さすがは医療職を中心とした病院職員

だなあと改めて感じました。

さらに感心したのは、班別討議の時間です。今年は平成25

へえ～そうなん？



いつやるの？

今でしょ



年度の愛媛医療センターの3つの病院目標のうちどれか一つをテーマに、「あなたは病院目標を具体的にどう考えますか。どう行動しますか。」という設問をその場で提示して、その日の内に班内で討議・検討し、翌日結果を発表してもらうという形式で実施しました。

この班別討議には病院幹部をはじめ、先輩職員がアドバイザーとして参加したのですが、それにしても多くの参加者が新採用にもかかわらず、てきぱきとテーマを決め役割を分担し、さらによどみなく討議を行い、発表に向けて論点を整理してまとめていくのを見て、今の若い人達って優秀なんだなあと改めて認識するとともに、大変頼もしく感じました。

この病院に転勤してはじめて病院行事に参加して、分からないことも多かったのですが、職員の協力を得て、なんとか無事終了することができました。協力をいただいた先輩職員に感謝いたします。

管理課長 佐伯 哲朗



今年は例年よりも10日ほど早い梅雨入りとなりました。湿度も高く、じめじめとしたこの時期は、体調を崩しやすく食中毒も発生しやすい時期ですので、体調管理には十分注意しましょう。

細菌やウイルスは、目に見えないためどこにいるのかわかりませんが、私たちの周りの至るところに存在している可能性があります。食中毒は、その原因となる細菌やウイルスが食べ物に付着し、体内へ侵入することによって発生します。

食中毒を防ぐためには、下記の食中毒予防の3原則が基本となります。

### (食中毒予防3原則)

#### ①菌をつけない。

- ⇒ 食中毒の原因菌が食べ物につかないように、石鹸を使ってしっかり手を洗いましょう。手洗い後は、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。
- ・ 野菜などの食材は、流水できれいに洗いましょう。

- ・ 生肉や魚を切ったまないたや包丁は必ず洗剤でよく洗って熱湯消毒する。
- ・ 調理器具は洗った後、熱湯消毒する。

#### ②菌を増やさない。

⇒ 冷蔵や冷凍の必要な食品は、冷蔵庫や冷凍庫で保存しましょう。

(冷蔵庫：10℃以下 冷凍庫：-15℃以下)

※ただし、冷蔵庫に入れても細菌はゆっくりと増殖しますので、冷蔵庫を過信しないことが大切です。また、詰めすぎると冷気の循環が悪くなるので、気をつけましょう。

#### ③菌をやっつける。

⇒ 食品は、中までしっかり加熱しましょう。

(目安：75℃ 1分間以上)

(その他のポイント)

- ・ 食品・食材を購入する時には、消費期限を確認しましょう。
- ・ 生肉や魚などの汁が果物やサラダなど生で食べるものや調理の済んだものにかからないようにしましょう。
- ・ 作った料理は長時間室温に放置しないようにしましょう。



# 看護学校の頁 ～学び舎から～

## 入学式…そして今

入学式を終えて早くも1カ月がたちました。入学式では、新しい環境への不安と期待からとても緊張していたことを思い出します。しかし、今は優しい先生方や先輩方のサポート、そして明るい同級生のおかげで毎日が充実しています。これからの3年間はいろいろな苦悩があると思いますが、同じ夢を持つ仲間とともに助けあいながら努力していきたいと思っています。

私は幼い頃、看護師が優しく話しかけてくださったことで倦怠感が和らいだことがありました。この体験が看護師を目指すきっかけとなっています。人は体調を崩すと、身体面だけではなく精神面も弱ってしまうため、看護師は患者さんの精神面のサポートも行う必要があります。また、入院患者さんは、退院後の生活までをも見越したサポートを行わなくてはなりません。私は、患者さんを心身共に健康な状態へと導き、そして復帰後も健康的な日常生活が送れるよう、サポートを行える看護師を目指したいと思っています。

看護専門分野の学習はこれまであまり触れることのなかった内容が多く、とても難しく感じます。しかし、講師の先生方が医療現場における体験談

や映像などを用いて、理解しやすいよう講義してくださることにとっても心強さを感じています。今後根拠に基づいた知識と技術を正確に身に付け、まずは1月の基礎看護学実習Ⅰにおいて学習内容が活かせるよう努力していきたいと思っています。愛媛医療センター附属看護学校で学べることに感謝をし、勉学だけではなく、学校行事や友人との関わりの中で人間性の形成にも励みたいと思います。最後になりましたが、新入生第12期生をよろしくお願い致します。

第12期生 大西亜矢香

### 誓いの言葉



幸か不幸か、今年銀婚式を迎えた妻がひとりだけいる。近頃は喧嘩をすることもなくお互いが空気のような存在になっている。

普段からふたりで買い物によく出掛けるし、休日にはあちこちへドライブに出掛けるのが恒例になっている。周りからは「仲がいいねえ」とよく云われるが、そんな時は決まって「子供も大きくなったし、遊んでくれるんは、犬時々嫁じゃけん」と答えると返ってくる反応は一樣に、大笑いし乍らも納得顔で頷く人ばかり。どの家庭も似たり寄ったりなのだろうと推測される。

ところで、我が家は亭主閑白で、献身的な妻が甲斐甲斐しく尽くしている。と周りからは見られてるようで、普段から根拠のない自信を漲らせて態度のでかい私と、大人しそうな外見の妻との組み合わせからそのように見られて



樹 懶 菴

「ついで一番偉いのは父さん。一番強いのは母さん」…むべなるかな…。

家内安全、夫婦円満の秘訣は案外そんなところにあるのかも思えないと思う二十五年度の夏…。

いるようなのだが。

実際は、私は常に妻の掌で転がされているわけで、その昔積尊の掌中を飛び回ったお猿さんそのものである。

長男が幼い頃、いみじくも吐いた名言が我が家に残っている。曰く

# ちよんと言い放し

愛媛医療センターニュース編集委員の持ち回りでお届けします。

# 外来診療担当医表

内科外来直通電話 089-990-1834 FAX 089-990-1858  
 外科外来直通電話 089-990-1835 FAX 089-990-1859

診療科	月	火	水	木	金
循環器内科	岩田 船田	船田 藤井 藤田	藤田	岩田	船田
消化器内科	古田	山内(一)	久保	山内(一) 糖尿病専門 廣岡	久保
呼吸器内科	阿部	市木 渡邊	佐藤	阿部 植田	市木
神経内科	橋本	篠原			戸井
外科			石丸		
消化器外科		鈴木		渡部 (隔週・午前)	
呼吸器外科				澤田・末久 (第1・15時~)	湯汲
整形外科 午前のみ診療	横手 宮本		横手	宮本	宮本(第2・4)
専門外来 (完全予約制)	心臓リハビリ 藤田	心臓リハビリ 藤田	心臓リハビリ 船田	心臓リハビリ 船田	心臓リハビリ 藤田
		スキンケア外来 第1・3(午前)	ペインクリニック 山内(康)	ペースメーカー外来 第2・4 午後	糖尿病外来 古川 (第2・4)
	SAS外来 渡邊 (14時~16時再診のみ)	アスベスト外来 (13時~16時)	SAS外来 植田(午後)	フットケア外来 毎週	じん肺外来 西村 (第1・3午前)
			神経難病 橋本	アスベスト外来 13時~16時	

※外来受付は午前8時30分から午前11時までです。ただし、土・日・祝祭日・年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。 2013年7月1日現在  
 ※容体急変の心臓疾患・急性呼吸不全の患者様は24時間受け入れします。  
 ※SAS(睡眠時無呼吸症候群)

## 独立行政法人国立病院機構 愛媛医療センター

〒791-0281 愛媛県東温市横河原366 TEL 089-964-2411 FAX 089-964-0251  
 ホームページアドレス <http://www.ehime-nh.go.jp>

### 当院の位置と交通



#### 高速道路川内ICまでの所要時間

- 三島川之江IC(70km) 50分
- 高松西IC(130.9km) 1時間30分
- 徳島IC(170.9km) 1時間50分
- 高知IC(130.1km) 1時間30分  
(川内ICから当センターまで車で5分)

#### 交通機関

- 電車 伊予鉄高浜横河原線横河原駅下車徒歩7分  
または、愛大医学部南口駅下車徒歩3分
- バス 伊予鉄松山市駅川内方面行横河原下車徒歩10分
- 自家用車 松山市から30分 伊予市から40分 西条市から60分  
無料駐車場完備

※弊誌の基本方針として、掲載写真については原則ご本人様の了解を頂いております。